

令和7年度 岐阜市ゼロカーボン市民懇談会

実施報告書

開催日：令和7年10月4日（土）、令和7年11月8日（土）
令和7年12月6日（土）、令和8年1月10日（土）

岐阜市環境部ゼロカーボンシティ推進課

1 はじめに

本市は、脱炭素社会に向けて 2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目指し、令和 5 年 5 月に「岐阜市ゼロカーボンシティ」を宣言し、脱炭素社会に向けて取り組みを進めているところです。

令和 7 年度に市民が主体となりゼロカーボンシティの実現に向けた具体的な行動を考える会議「岐阜市ゼロカーボン市民懇談会」を開催しました。懇談会では 幅広い世代の市民の方々が参加され、各回講師がゼロカーボンに向けての講演を行い、グループでアクションプランを作成し、最終回では、各グループが「アクションプラン」を発表していただきました。提出いただいた「アクションプラン」を参考に今後の市の脱炭素の取り組みに活かしてまいります。

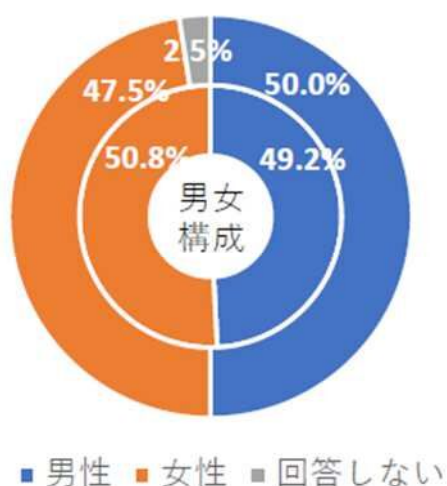
ご参加くださった参加者の皆様、情報提供と講演していただきました講師の皆様ありがとうございます。

2 参加者

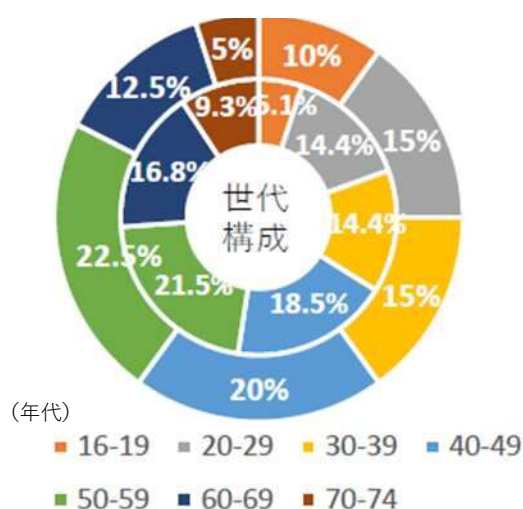
15 歳（平成 22 年 4 月 1 日以前生まれ）～74 歳の市民で無作為抽出によって選ばれた 4,000 名に参加案内を送付したところ **74 名** の応募があり、厳正なる抽選を実施しました。年齢、性別、地域によって調整し、**40 名** の参加者を決定しました。

（懇談会参加者内訳）

男女構成比



市全域と参加者の構成比較内側：市全域 外側：会議参加者



3 懇談会内容

会場：岐阜市役所 6 階大会議室

9 時～12 時

	日時 参加人数	実施内容
第 1 回	令和 7 年 10 月 4 日(土) 9 時～12 時 参加者：37 名	テーマ：気候変動の現状と課題
		講演と質疑応答 田浦健朗氏：認定 NPO 法人気候ネットワーク 理事・事務局長 「気候変動の現状と課題」
		講演と質疑応答 三上直之氏：名古屋大学大学院環境学研究科教授、アドバイザー 「各地で開催される気候市民会議とその意義」
		岐阜市からの情報提供 「岐阜市の脱炭素について 岐阜市ゼロカーボンシティ宣言の目指すもの」：岐阜市ゼロカーボンシティ推進課
		グループの話し合い 自己紹介、 「参加の動機」や「市民懇談会への期待」の意見交流
第 2 回	令和 7 年 11 月 8 日(土) 9 時～12 時 参加者：33 名	テーマ：脱炭素に向けて（生活編）
		講演と質疑応答 浅野かつ代氏：NPO 法人ピープルズコミュニティ 副理事長兼事務局長 「一人一人、地域社会、NPO が積み上げてきた地球温暖化対策」
		岐阜市からの情報提供 「岐阜市の脱炭素の施策について 岐阜市ゼロカーボンシティ宣言の目指すもの」：岐阜市ゼロカーボンシティ推進課
		グループの話し合い 自己紹介、 アクションプランの作成① [個人でアクションプランの内容を考えた後、 グループで個人の意見を共有して、 現時点での各グループのアクションプランを形成し発表]
第 3 回	令和 7 年 12 月 6 日(土) 9 時～12 時 参加者：30 名	テーマ：炭素に向けて（社会編）
		講演と質疑応答 木原浩貴氏：たんたんエナジー株式会社 代表取締役 「ゼロカーボンに向けての様々な取り組み」
		グループの話し合い アクションプランの作成② [前回のアクションプランの内容の付け足しや内容の追加し発表]

第 4 回	令和 8 年 1 月 10 日(土) 9 時～12 時 参加者：27 名	テーマ：ゼロカーボンの「みらい」をめざして
		講演と質疑応答 神田浩史氏：NPO 法人泉京・垂井 副代表理事 「一人一人のアクションから、脱炭素まちづくり、脱炭素社会へ」
		グループの話し合い アクションプランの作成③ [前回のアクションプランの内容の付け足しや内容の追加後、 アクションプランを完成させ発表]

4 令和 7 年度 市民懇談会を終えて

第 1 回では、「気候変動の現状と課題」をテーマとして田浦さんが、今起きている気候変動とは何なのかを話され、また、三上さんが、気候市民会議の意義を総論的に話され、参加者は、「現在、気候変動という課題があること」を理解されました。

第 2 回では、生活編をテーマとして、「地域で積み上げられた活動・生ゴミ」について浅野さんから、身近に取り組まれた話を伺い、参加者は、「自分たちにもできそうだ」という感覚を持ちました。

第 3 回では、社会編をテーマとして、木原さんに少し広い視野で、海外での取り組みや、国内のほかのまちでの取り組みを紹介いただき、参加者は、社会全体で「気候変動という課題に対策がある」ことを知りました。

第 4 回では、「脱炭素まちづくり」をテーマとして、神田さんにまちづくりなどで行政とどのように関わるのかの話を伺い、参加者は、「自分たちもこの課題に関わることができること」を教わりました。

その中で、第 2 回から第 4 回にかけて、各グループで「アクションプラン」を作成しました。第 4 回では、話し合ってきた「アクションプラン」を柴橋岐阜市長と当懇談会のアドバイザーである三上さんの前で発表しました。

今回提案を受けたアクションプランを参加者が作り上げる中で、「ゼロカーボン実現に向けて目指したい岐阜市の姿」や「そこに向けてのアクションプラン」として、多く挙がっていたワード・センテンスなどに下記のとおり、マーカーをしました。

最後に、グループで作成した 6 つの「アクションプラン」から、重要だと思われる「言葉」を拾い、キーワード、キーセンテンスとしてまとめました。

【目指す姿】

GCEP（岐阜市カーポートエクステンションプロジェクト） 人、団体、事業所、岐阜市が持続可能にゼロカーボンシティを目指すことを目的として、 カーポート設置を展開する
とにかく環境と人にやさしい岐阜市 — 未来と次の世代につなげる — 行政が市民生活を支援することで、市民が環境にやさしい行動をとれるようになる
岐阜市民1人ひとりのゼロカーボン意識が10年後には「当たり前」になっている!!
一人一人が環境を意識し、（市民、行政、企業等）みんなが主体的に行動する岐阜市を実現する
一人一人環境に応じた行動が判断できるようにする きれいな環境で平和に豊かに暮らせる岐阜市を少しでも良くしながら次世代に引き継ぐ
一人一人が環境問題に関心を持ち自分ごとにできる 市民、企業、行政がお互いを巻き込む取り組みをする 公共交通が十分に活用されている 再エネ活用 No1. City になる

【情報発信】

直接知る（できるだけ受動的に） ・バス、電車、ショッピングセンターなどで → ポスター貼る ・スキップ不可の動画／スマホゲームの広告 ・指定ごみ袋に印字 ※「減 CO2 ポイント」絶対もらえる化「減税」でも OK 間接的に知る（企業も巻き込める） ・スーパーの地産地消コーナー ・ゼロカーボンと関係ないイベントで発信 → 花火大会、マラソン、農フェス
意識をかえる、意識がかわるためのプラン ・意識が変わるために、ゼロカーボンの啓発が必要 不安、失敗、不便の体験より、プラス（成功、楽しい）体験を知らせることが必要
各ターゲット（市・地域、個人）に向けての情報発信が必要 各施策（断熱、省エネ家電、生ごみたい肥化）の効果・コストを伝える 若者は動画等が伝わりやすい 企業が製品に助成金情報を付ける
CO2の問題に触れる機会（知る）を増やす → どこでも目に入る分かりやすいPR
企業に省エネの取り組みをアピールしてもらう → 就職の選択肢となる 企業、市民が得するエコ情報提供、交流の機会を増やす

【教育】

環境意識を変えるには

- ・学校で身近な環境問題の動画から議論する
- ・アプリ化（減 CO2 ポイント制度、スゴロク、教師から子供にポイント付与 等）
- ・読書感想文風に環境問題解決策を作文
- ・ワークショップなど交流できる機会を提供

まず「知る」 → 全年齢が「知る」！現状できることを！

子ども

教育 ... 社会見学で体験学習

企業・地域も参画する 伝えることも“知る”良い機会になる

子どもに教育学習が必要

小中学校でゼロカーボンの学習をする → 環境問題への興味

【移動・インフラ】

移動支援（自家用車より便利に）

バス（コミュニティバスも）の充実化

料金を安く 病院等、幅広い人の使う区間を無料

EV バスの導入（太陽光発電も）県と市で連携して

EV 充電スタンドを増やす、カーシェア、

EV 購入時の補助金、EV タクシー、

利用ポイント化

公共交通機関の充実、利用

- ・自動運転の省エネバスの普及
- ・公共交通機関を利用することに対する補助金を出すなど支援制度の充実
- ・エネルギーを大規模から小規模（私・家庭）でつくり出すしくみをつくる
- ・合理化と不便をかけないこと（深夜バス、コミュニティバス運行）の両立
- ・個人（私）一人一人が歩き続けられる体力・筋力の維持につとめる

公共交通を使いやすくする

運賃、本数、路線

電気自動車購入しやすいように補助金を増やす

インフラ政策の充実

（私、家庭）利用者として見つけた課題や改善してほしいことなどを「可視化・提言」していく
（岐阜市）今すぐ：インフラ利用への補助を充実

5 年：合理化と市民の不便の両立

10 年：市がイニシアチブをとり、インフラを担う企業等を集めて、施策を立案、実行

ゼロカーボン推進課だけの仕事とせず、庁内すべての課を巻き込んで実行
岐阜市の特色を生かした活動の企画・実行・・ 豊富な水資源があるので水力発電、 津波リスクが少ないため、防災庁情報センターの基地を誘致

【太陽光】

【市民アクション】 1. プロジェクト 実施運営主体を立ち上げる (1) 出資を受け入れる事を前提とした法人格を取得 (2) 情報共有の場（展示会・サイト）を提供する (3) 外部に対して積極的な情報を発信する (4) 市民出資制度を運営する ・一口出資の受け入れ ・配当、還元の実施（鶏飼や観光地割引など） 2. 役割 (1) 市が事業所等にカーポート設置を義務付け (2) 金融機関は提携ローンや融資制度で資金支援 (3) 商工会議所等は①会員企業への告知、②交流会、展示会等を定期的に企画 (4) 工務店は認定工務店として登録
住む場所（太陽光発電）保証・支援 アフターケア、費用補助、廃棄の保証 場所 あらゆる場所を活用 道路、ガードレール、学校、看板、企業（スーパー）等 宣伝 SNS や看板を活用、メリット、体験談、保証、設置から廃棄まで分かる動画
再エネ活用がしやすいように補助金を増やす

【廃棄物】

廃棄物を減らす (私・家庭) ごみを減らす (事業者・企業) 紙や梱包材を減らす！工程を工夫する。 (岐阜市) 紙資料や紙を減らす、やめる

【まとめ】

■ゼロカーボン実現に向けて目指したい岐阜市の姿

- ・一人ひとりが、脱炭素、気候変動への意識が「当たり前」になっている！
- ・一人ひとりが、脱炭素、気候変動という課題を「自分ごと」としてとらえている！
- ・一人ひとりが、脱炭素、気候変動という課題に対し、「主体的に行動」できる！

■そこに向けてのアクション

1 市民へ「知る、伝える」ことが重要 = 「情報発信」

情報発信、教育 費用は安くできる

手段、工夫（子どもから大人への情報発信、教育）が必要

自然に伝わる、知ってもらう

2 早い時期からの「教育」 = 「環境教育」

小中学校で「ゼロカーボン、脱炭素、気候変動」の学習をする

3 CO2 を排出しない「移動、運輸」

公共交通を便利にする（自家用車よりも）

4 行政の「サポート」 = 「補助金」など

太陽光発電設備、蓄電池の購入

EV の購入、省エネ家電の購入

5 まずは「ごみの減量」から

[資料]

資料 1 各グループ アクションプランに対する個別シート p 8

発表時のグラフィックレコーディング

資料 2 参加者に対し、毎回実施したアンケート結果 p 20

アクションプランに対する個別シート

【グループ1】 GP01						
【ゼロカーボン実現に向けて目指したい岐阜市の姿】 GCEP（岐阜市カーポートエクステンションプロジェクト） 人、団体、事業所、岐阜市が持続可能にゼロカーボンシティを目指すことを目的として、 カーポート設置を展開する						
【市民アクション】 <table><tr><td>1. プロジェクト 実施運営主体を立ち上げる</td></tr><tr><td>(1) 出資を受け入れる事を前提とした法人格を取得</td></tr><tr><td>(2) 情報共有の場（展示会・サイト）を提供する</td></tr><tr><td>(3) 外部に対して積極的な情報を発信する</td></tr><tr><td>(4) 市民出資制度を運営する ・一口出資の受け入れ ・配当、還元の実施 (鶏飼や観光地割引など)</td></tr></table>	1. プロジェクト 実施運営主体を立ち上げる	(1) 出資を受け入れる事を前提とした法人格を取得	(2) 情報共有の場（展示会・サイト）を提供する	(3) 外部に対して積極的な情報を発信する	(4) 市民出資制度を運営する ・一口出資の受け入れ ・配当、還元の実施 (鶏飼や観光地割引など)	【社会的しくみ・現状】 ○実施運営主体の立ち上げ (参考)福知山市「たんたんエナジー株式会社」 ・太陽光発電による再エネの地産地消 ・市民出資型の太陽光発電設備の設置 ○情報共有、情報発信 ・岐阜市脱炭素ポータルサイト ・広報ぎふ、公式 SNS 等 ⇒ 地域事業者と関係の深い金融機関や商工会議所と連携した情報発信が必要 ○市民出資制度 ・環境価値を集約して J-クレジット化も可能 (松坂市×東邦ガス) ・企業版ふるさと納税の仕組みを活用 (北海道三笠市) ○カーポート型太陽光発電設備 ・マーサ21の駐車場に導入済み ・初期費用が高い、採算性に課題 ⇒ 初期費用ゼロ円設置（PPA 事業）を検討 ○太陽光発電設備の設置義務化 ・東京都、川崎市で事例あり
1. プロジェクト 実施運営主体を立ち上げる						
(1) 出資を受け入れる事を前提とした法人格を取得						
(2) 情報共有の場（展示会・サイト）を提供する						
(3) 外部に対して積極的な情報を発信する						
(4) 市民出資制度を運営する ・一口出資の受け入れ ・配当、還元の実施 (鶏飼や観光地割引など)						
【提案を受けて・ゼロカーボンシティ推進課の対応・見解】 ➤ゼロカーボンシティの実現には再生可能エネルギーの利用促進が必要であり、岐阜市の気候や地域性に適した持続可能なシステムを構築していくことが求められています。 ➤市民や事業者からの出資による財源確保や、金融機関・商工会議所と連携して事業者が参加を支援することは先進自治体の事例もあり有効な手段と考えています。 ➤また、配当・還元については、市民の皆さまの脱炭素に関わるモチベーションの向上に資するとともに市域の観光や消費の活性化を促すことも期待できると考えられます。 ➤今後は、岐阜市に適した地産地消の仕組みを整理しつつ、地域の金融機関や岐阜商工会議所等、関係機関と意見交換を行いながら、市民、事業者、行政が一体となる取り組みを検討していきます。						



【グループ2】 さつまいも																									
【ゼロカーボン実現に向けて目指したい岐阜市の姿】 とにかく環境と人にやさしい岐阜市 ― 未来と次の世代につなげる ― ・行政が市民生活を支援することで、市民が環境にやさしい行動をとれるようになる																									
【市民アクション】 <table border="1"> <tr> <th colspan="2">1. 住む場所（太陽光発電）</th></tr> <tr> <td>保証・支援</td><td>アフターケア、費用補助、廃棄の保証</td></tr> <tr> <td>場所</td><td>あらゆる場所を活用 道路、ガードレール、学校、看板、企業（スーパー）等</td></tr> <tr> <td>宣伝</td><td>SNS や看板を活用 メリット、体験談、保証、設置から廃棄まで分かる動画</td></tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">2. 移動支援（自家用車より便利に）</th></tr> <tr> <td>バス</td><td>バス（コミュバスも）の充実化 料金を安く 病院等、幅広い人の使う区間を無料 EV バスの導入（太陽光発電も） 県と市で連携して</td></tr> <tr> <td>EV</td><td>充電スタンドを増やす、カーシェア、購入時の補助金、EV タクシー、利用ポイント化</td></tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">3. 環境意識を変えるには</th></tr> <tr> <td colspan="2">・学校で身近な環境問題の動画から議論する</td></tr> <tr> <td colspan="2">・アプリ化（減 CO2 ポイント制度、スゴロク、教師から子供にポイント付与 等）</td></tr> <tr> <td colspan="2">・読書感想文風に環境問題解決策を作文</td></tr> <tr> <td colspan="2">・ワークショップなど交流できる機会を提供</td></tr> </table>	1. 住む場所（太陽光発電）		保証・支援	アフターケア、費用補助、廃棄の保証	場所	あらゆる場所を活用 道路、ガードレール、学校、看板、企業（スーパー）等	宣伝	SNS や看板を活用 メリット、体験談、保証、設置から廃棄まで分かる動画	2. 移動支援（自家用車より便利に）		バス	バス（コミュバスも）の充実化 料金を安く 病院等、幅広い人の使う区間を無料 EV バスの導入（太陽光発電も） 県と市で連携して	EV	充電スタンドを増やす、カーシェア、購入時の補助金、EV タクシー、利用ポイント化	3. 環境意識を変えるには		・学校で身近な環境問題の動画から議論する		・アプリ化（減 CO2 ポイント制度、スゴロク、教師から子供にポイント付与 等）		・読書感想文風に環境問題解決策を作文		・ワークショップなど交流できる機会を提供		【社会的しくみ・現状】 ○太陽光発電設備の設置に対する補助制度 ・岐阜市家庭用太陽光発電設備等設置補助金 ・蓄電池の補助も併せて再エネ利用促進 ・FIT 制度など費用負担を軽減することで、設置を促す ○太陽光パネルの大量廃棄問題 ・今後、太陽光パネルの大量廃棄が課題 ・国でリサイクル法案を検討 ○公共交通の利用促進 ・岐阜市総合交通計画に基づき取組を進める ・国の温対計画でも次世代自動車化を促進 ・岐阜市では自動運転バス（EV）を試行 ○小中学校への出前講座 ・岐阜県地温センター「温暖化防止教室」 ・NPO 法人 e-プラス「省エネ講座」 ・FC 岐阜主催「グリーンカーテン」 ・市職員「地球温暖化と私たちの暮らし」 等 ○ぎふ減 CO2 ポイント制度 ・市民の省エネ行動にポイントを付与 ・集めたポイントで啓発品に応募 ・事業者からの協賛による官民連携した取組
1. 住む場所（太陽光発電）																									
保証・支援	アフターケア、費用補助、廃棄の保証																								
場所	あらゆる場所を活用 道路、ガードレール、学校、看板、企業（スーパー）等																								
宣伝	SNS や看板を活用 メリット、体験談、保証、設置から廃棄まで分かる動画																								
2. 移動支援（自家用車より便利に）																									
バス	バス（コミュバスも）の充実化 料金を安く 病院等、幅広い人の使う区間を無料 EV バスの導入（太陽光発電も） 県と市で連携して																								
EV	充電スタンドを増やす、カーシェア、購入時の補助金、EV タクシー、利用ポイント化																								
3. 環境意識を変えるには																									
・学校で身近な環境問題の動画から議論する																									
・アプリ化（減 CO2 ポイント制度、スゴロク、教師から子供にポイント付与 等）																									
・読書感想文風に環境問題解決策を作文																									
・ワークショップなど交流できる機会を提供																									
【提案を受けて・ゼロカーボンシティ推進課の対応・見解】 ➤ゼロカーボンシティの実現には行政、市民、事業者が一体となってオール岐阜での取り組みが必要です。 ➤太陽光発電に関して、保証、廃棄等の不安や課題については、国などの動きにあわせて、情報提供を行ってまいります。 ➤太陽光発電や EV の購入、公共交通の利用に対する補助金等については、市の財政負担を鑑みながら、効果的、効率的な手法を検討する必要があります。 ➤市民の環境意識の変容は、今後の取り組みの土台となる大変重要な課題です。特に、次世代を担う子どもたちには、環境配慮への「きっかけ」や「やる気」を提供していきたいと思います。																									



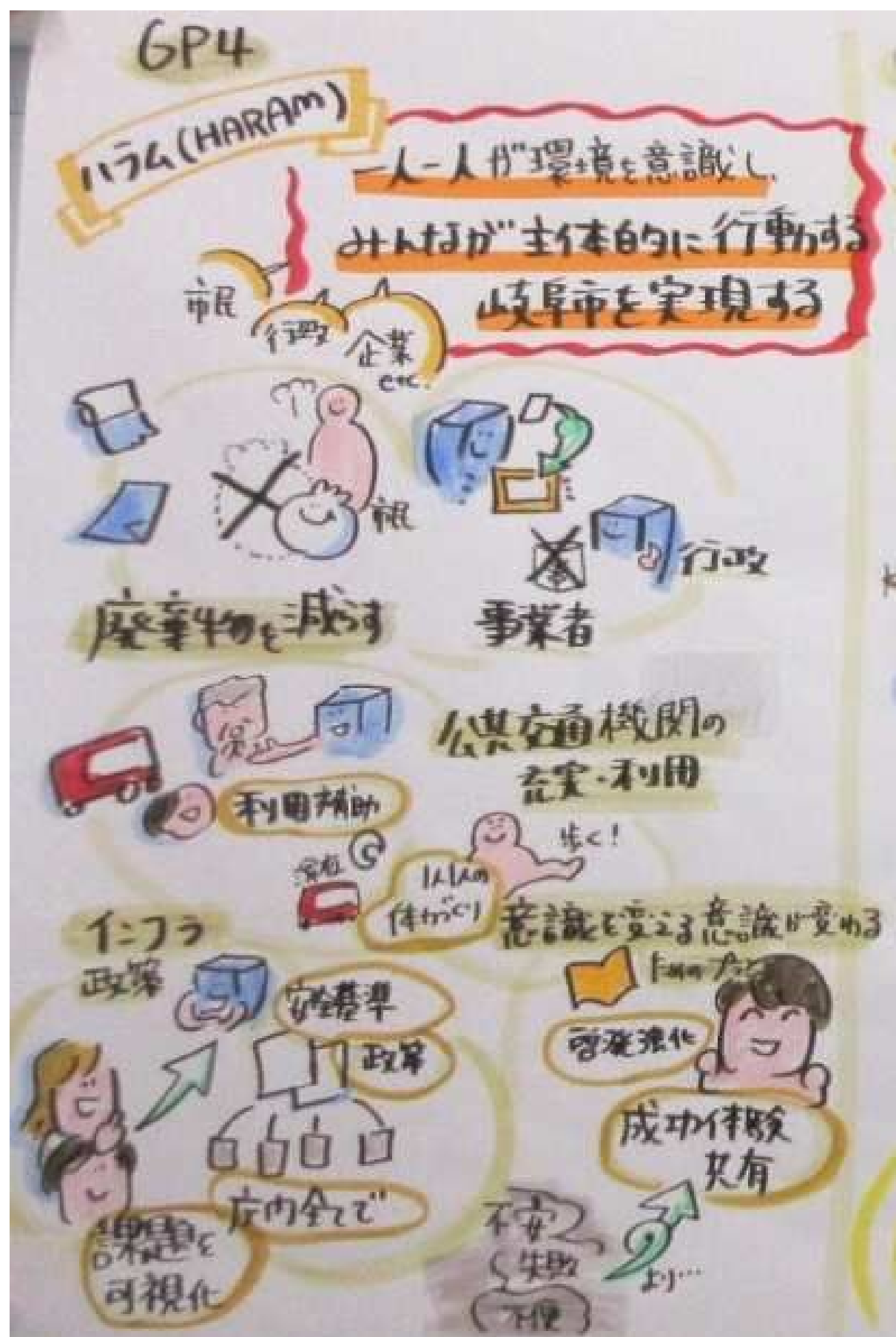
アクションプランに対する個別シート

【グループ 3】 チームハヤシ	
【ゼロカーボン実現に向けて目指したい岐阜市の姿】 岐阜市民1人ひとりのゼロカーボン意識が10年後には「当たり前」になっている!!	
【市民アクション】 まず「知る」 → 全年齢が「知る」! → 現状できることを! <ターゲット> 子ども ① 教育 … 社会見学で体験学習 企業・地域も参画する ② 親から 伝えることも “知る”良い機会になる 大人（子どもも） ① 直接知る ・バス、電車、ショッピングセンターなどで → ポスター貼る ・スキップ不可の動画／スマホゲームの広告 ・指定ごみ袋に印字 ※「減 CO2 ポイント」絶対もらえる化 「減税」でも OK ② 間接的に知る ・スーパーの地産地消コーナー ・ゼロカーボンと関係ないイベントで発信 → 花火大会、マラソン、農フェス 企業も巻きこめる	【社会的しくみ・現状】 ○情報共有、情報発信 ・岐阜市脱炭素ポータルサイト ・広報ぎふ、公式 SNS 等 ⇒ 地域事業者と関係の深い金融機関や 商工会議所と連携した情報発信が必要 ○環境学習プログラムガイド ○小中学校への出前講座 ・岐阜県地温センター「温暖化防止教室」 ・NPO 法人 e-プラス「省エネ講座」 ・FC 岐阜主催「グリーンカーテン」 ・市職員「地球温暖化と私たちの暮らし」等 ○ポスターの作成（検討） ⇒ ポスターコンクール ○広告 ⇒ 減 CO2 ポイント制度のバス広告 ビジョン広告
【提案を受けて・ゼロカーボンシティ推進課の対応・見解】 ➢ゼロカーボンに対する意識が「当たり前」になっている、という状態は、目指すべき1つの姿と考えます。 ➢情報共有、情報発信について、「市民（受け手）」が、能動的に情報を取りに行かなければ、得られない形ではなく、受動的に、自然と受け取れる、見ることができるようにする仕組みは、ゼロカーボンに興味関心のない層に情報を届けるためには必要であると考えます。 ➢今回の意見では、子どもをターゲットとする際に、伝える側にも着目していただきました。地域、企業や親を巻き込むことは、伝える側としても「知る」よいきっかけとなり、好循環が生まれることは大変期待できます。 ➢現在、本市においても、出前講座をはじめ、イベントへのブース出展や市 HP 等での広報を活用し、普及啓発に取り組んでいます。頂いた意見を参考に、今後の情報発信の仕方を検討し、環境配慮への「きっかけ」や「やる気」を提供していきたいと思います。	



アクションプランに対する個別シート

【グループ 4】 ハラム	
【ゼロカーボン実現に向けて目指したい岐阜市の姿】 一人一人が環境を意識し、(市民、行政、企業等)みんなが主体的に行動する岐阜市を実現する	
【市民アクション】 重点におく 4 点 ① 廃棄物を減らす (私・家庭) ごみを減らす (事業者・企業) 紙や梱包材を減らす！工程を工夫する。 (岐阜市) 紙資料や紙を減らす、やめる ② 公共交通機関の充実、利用 ・自動運転の省エネバスの普及 ・公共交通機関を利用することに対する補助金を出すなど支援制度の充実 ・エネルギーを大規模から小規模(私・家庭)でつくり出すしくみをつくる ・合理化と不便をかけないこと(深夜バス、コミュニティバス運行)の両立 ・個人(私)一人一人が歩き続けられる体力の維持につとめる。 ③ インフラ政策の充実 (私、家庭) 利用者として見つけた課題や改善してほしいことなどを「可視化・提言」していく (岐阜市) 今すぐ：インフラ利用への補助を充実 ・5年：合理化と市民の不便の両立 ・10年：市がイニシアチブをとり、インフラを担う企業等を集めて、施策を立案、実行 ※ゼロカーボン推進課だけの仕事とせず、庁内すべての課を巻き込んで実行 ④ 意識をかえる、意識がかわるためのプラン ・意識が変わるために、ゼロカーボンの啓発が必要 不安、失敗、不便の体験より、プラス(成功、楽しい)体験を知らせることが必要	【社会的しくみ・現状】 ○地球温暖化対策実行計画 緩和 I-4 ごみの減量・資源化 ・ごみの発生の抑制 ・資源として有効利用 緩和 I-3 環境にやさしい交通への 転換 ＜生活スタイルの転換＞ ・自家用自動車への過度の依存を抑制 ・徒歩による移動 ・自転車、公共交通機関の利用 ○神田氏講演資料 ・個人で、家族で、できることは、今すぐに、一つずつ ・NPO などのコミュニティを巻き込むことは、ちょっとずつ時間をかけながら ・その先には、岐阜市との協働や制度化・政策化も視野に入れながら
【提案を受けて・ゼロカーボンシティ推進課の対応・見解】 ➤本市としても、ゼロカーボンシティの実現に向けて、「一人一人が環境を意識し、みんなが主体的に行動する岐阜市を実現する」ことが必要であるとの認識です。 ➤「①廃棄物を減らす」に関しては、令和8年10月よりごみ処理有料化制度を実施するとともに岐阜市に適したごみ減量の取組を進めてまいります。 ➤「②公共交通機関の充実、利用」「③インフラ政策の充実」に関しては、一人ひとりができることを進める一方で、システムの合理化と市民の利便性の両立が必要とのご意見をいただきました。交通政策や都市計画等、様々な関係部局と連携し、取り組みを推進してまいります。 ➤「④意識をかえる、意識がかわるためのプラン」のプラス(成功、楽しい)体験に関しては、近年、全国各地で脱炭素への取り組みが加速する中、本市含め様々なところで効果的な取り組みが展開されています。これらの事例については積極的に広報することにより、全体への効果の波及を図ってまいります。	

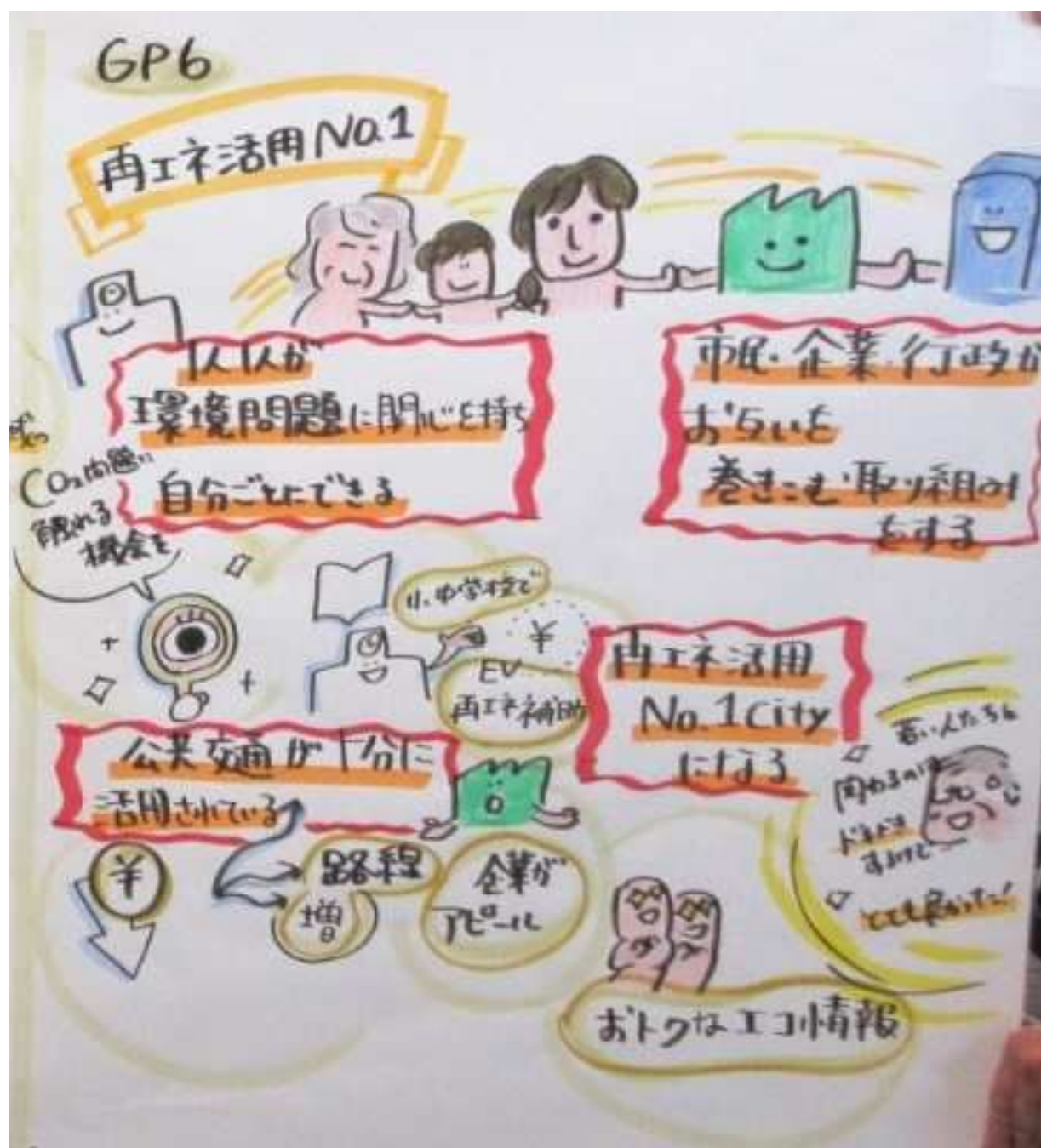


アクションプランに対する個別シート

【グループ 5】 ごはん	
【ゼロカーボン実現に向けて目指したい岐阜市の姿】 一人一人環境に応じた行動が判断できるようにする きれいな環境で平和に豊かに暮らせる岐阜市を少しでも良くしながら次世代に引き継ぐ	
【市民アクション】 情報発信 1. 各ターゲット（市・地域、個人）に向けての情報発信が必要 2. 各施策（断熱、省エネ家電、生ごみたい肥化）の効果・コストを伝える。 3. 若者は動画等が伝わりやすい 4. 企業が製品に助成金情報を付ける 5. 子どもに教育学習が必要 6. 岐阜市の特色を生かした活動の企画・実行… 豊富な水資源があるので水力発電、津波リスクが少ないため、防災庁情報センターの基地を誘致 市民活動 住環境別アプローチ 情報発信の企業との連携 市政 情報発信サポート 岐阜の特色を活かした活動の企画・実行 ①豊富な水資源、②津波リスク少、③農地	【社会的しくみ・現状】 ○情報共有、情報発信 ・岐阜市脱炭素ポータルサイト ・広報ぎふ、公式 SNS 等 ⇒ 市脱炭素ポータルサイトでゼロカーボンに効果、コストが分かる環境省イラストを掲載 ○子どもに対する教育 ・ゼロカーボン出前講座を学校、学校外（メガソーラー施設）で実施 ○岐阜市の特色を生かした活動の企画・実行 ・電力、施設の設置について国、他市町等の情報収集を行い、検討
【提案を受けて・ゼロカーボンシティ推進課の対応・見解】 ➤本市では、岐阜市脱炭素ポータルサイトを開設し、情報を一元化することにより、市民の皆様に分かりやすくお届けできるよう情報発信の仕方を工夫してまいりました。今回のご意見を参考に、各ターゲットを意識して、動画等の適切な方法の選択や、省エネ効果やコスト削減、企業とのコラボなど魅力的な情報発信ができるよう、検討していきたいと考えております。 ➤また、岐阜市の特色を活かした取り組みとしましては、長い日照時間を活かした太陽光発電や豊富な地下水を活かした地中熱利用など、再生可能エネルギーの利用促進及び省エネルギー化の推進が期待できます。これまでの取り組みをさらに加速させるとともに、その効果を地域に還元できるような仕組みも併せて検討してまいりたいと考えます。	



【グループ 6】 再エネ活用 NO.1	
【ゼロカーボン実現に向けて目指したい岐阜市の姿】 一人一人が環境問題に関心を持ち自分ごとにする 市民、企業、行政がお互いを巻き込む取り組みをする 公共交通が十分に活用されている 再エネ活用 No1. City になる	
【市民アクション】 1. 小中学校でゼロカーボンの学習をする → 環境問題への興味 2. CO2 の問題に触れる機会（知る）を増やす → どこでも目に入る分かりやすい P R 3. 電気自動車購入、再エネ活用がしやすいように補助金を増やす 4. 公共交通を使いやすくする → 運賃、本数、路線 5. 企業に省エネの取り組みをアピールしてもらう → 就職の選択肢となる 6. 企業、市民が得するエコ情報提供、交流の機会を増やす	【社会的しくみ・現状】 ○子どもに対しての教育 ・ゼロカーボン講座を学校、学校外（メガソーラー施設）、ショッピングセンターなどで実施 ○情報共有、情報発信 ・岐阜市脱炭素ポータルサイト ・広報ぎふ、公式 SNS 等 ○電気自動車購入、再エネ活用補助金 ・電力設備について国、他市町等の情報収集を行い、検討 ○企業の省エネの取り組みを情報提供する ・岐阜市脱炭素ポータルサイト 「ぎふエコレポート」企業・団体・学校を様々な環境への取り組みを公開 ○企業、市民が得するエコ情報提供、交流の機会を増やす ・令和 5 年度に市民（子ども向け）と事業者に、「ゼロカーボン」についてのイベントを開催
【提案を受けて・ゼロカーボンシティ推進課の対応・見解】 ➤再生可能エネルギーの活用について、本市は日照時間が長く、太陽光発電のポテンシャルが高い地域と言えます。一方で、そのほとんどが域外に売電されているというデータもあり、今後は地域での活用を伴う「地産地消」が課題です。ご意見いただきました「再エネ活用 No.1 City」に少しでも近づけるよう、取り組みを進めてまいります。 ➤今回は、「市民アクション」として多分野にわたる取り組みを網羅的にご提案いただきました。脱炭素の取り組みは、環境教育や情報発信のようなソフト面の取り組みから、電気自動車などの先進技術の導入、公共交通網の整理のような社会システムの変革に至るまで、非常に多岐にわたることからも関係部局との連携を密にして、取り組みを進めてまいりたいと考えています。 ➤また、行政だけでなく、企業の取り組みにも着目し、優良事例は積極的に情報発信を行うことにより、その効果を最大限波及させてまいります。	



◇ゼロカーボン市民懇談会参加者アンケート

1. 各懇談会のアンケートの回答の推移

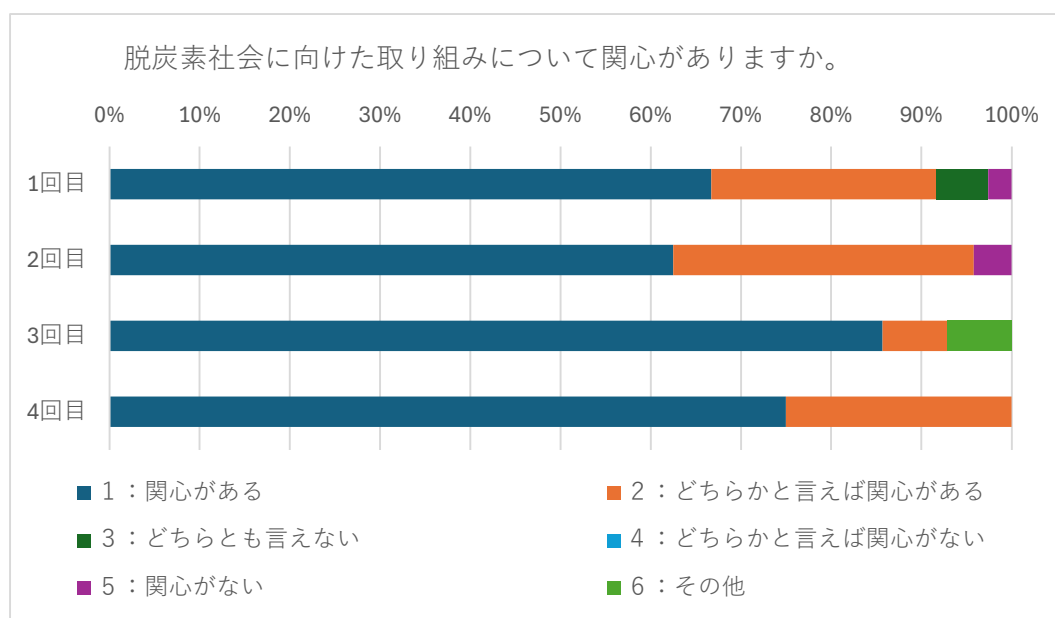
各回懇談会終了後に参加者にアンケートにて同じ質問を尋ね、回を重ねるごとに意識関心の変化を調査しました。

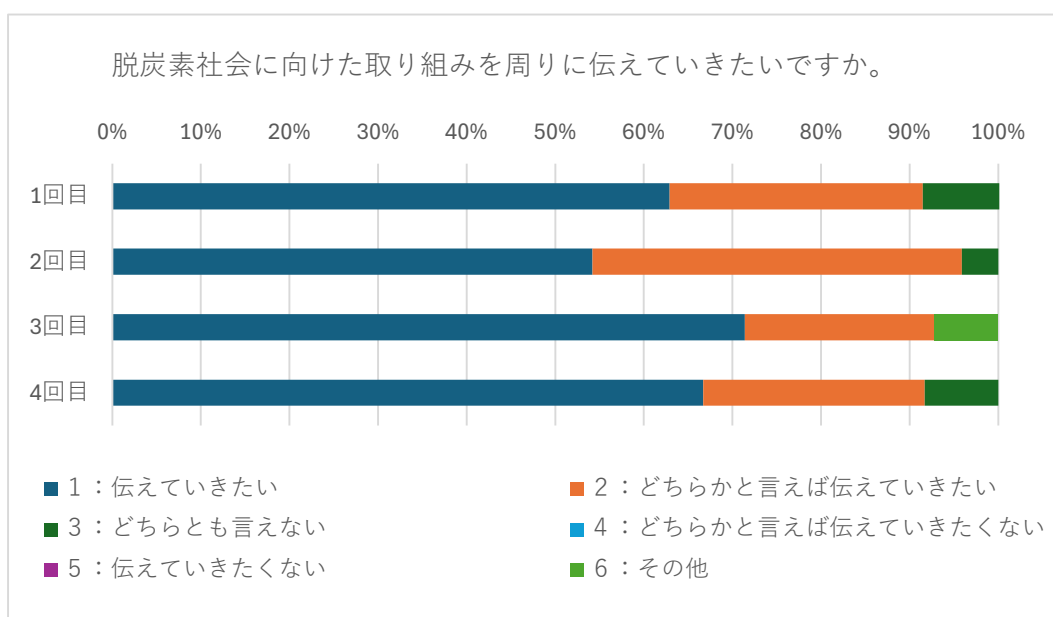
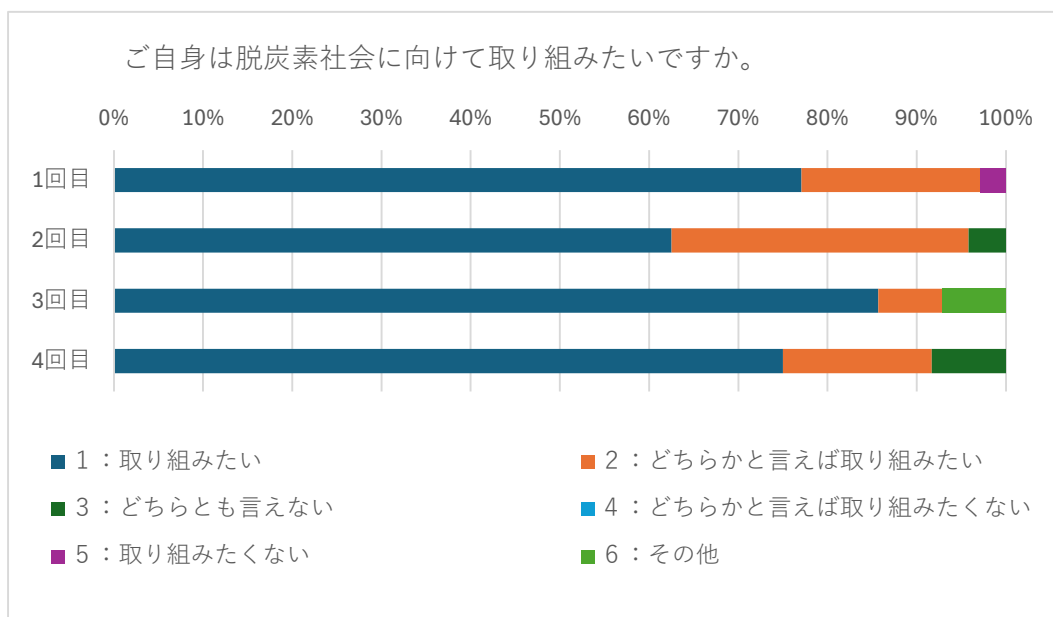
アンケートから「関心の高さ」については初回から見られます。参加者の減少はありましたが、「取り組みを伝えていきたい」は後半のアンケートで増加しており、自らの取り組みだけでなく、周囲への啓発意識の高まりが見られます。

回	懇談会参加者数 (アンケート回答者数)
1	37 人 (36 人)
2	33 人 (24 人)
3	30 人 (14 人)
4	27 人 (12 人)

アンケート回答方法 第1回紙回答

第2～4回はオンライン回答





2. 最終回懇談会後の意見、ご意見等

- ・ また参加したい
- ・ 関係者(市や NPO)の方のご苦勞が伝わってきました。自分自身の中でゼロカーボンに対する意識喚起がなされたことは、本当によかったです。
- ・ 聴くだけでなく、周囲の方と話したことが大きいです。Workshop の時間の長さや密度が気づきや満足度に繋がると感じました。
- ・ ありがとうございました。
- ・ 普段関わらない世代の方と交流できる場だったので、岐阜市を様々な角度から見れるようになりました。将来、教員になって環境や岐阜市の良さを伝えたいので、とても良い時間でした。
- ・ 名札を首にかけると机の下にもぐって見えませんでした。残念！でした。胸に安全ピンでとめるなど他の方法を。(名札を読めると思う)
- ・ 懇談会に参加したことによって視野が広がった気がします。参加して良かったです。ありがとうございました。
- ・ 同じ課題でもグループによって着眼点が違ってよかった。
- ・ 何年後かのフォローアップにも選ばれるように研さんを重ねていきたい。
- ・ 色々な年代の方と交流できて嬉しかったです。脱炭素についてもっと知りたいなと思いました。 参加できて良かったです！

令和 8 年 3 月
岐阜市環境部ゼロカーボンシティ推進課